

令和5年度 第1回碧南市スポーツ推進審議会 議事録

日時 令和5年6月1日(木)
13時30分～14時30分
会場 臨海体育館第二体育室
進行 課長 中嶋 忠彦

欠席者：青木

○市民憲章唱和

教育部長 岡崎 康浩

1 教育長あいさつ

教育長 生田 弘幸

2 会長あいさつ

会長 伴野 義雄

3 議 題

(1) 令和5年度スポーツ課事業計画について

係長 鈴木 章宏 資料に沿って説明

～説明後質疑応答～

Q 中学校の部活だけでなく、高校の部活動についてはどのような感じか。

A 高校の部活について

碧南市ではまだないが、少子化の影響で一つの高校だけではチームをつくるのが難しくなっている事例がある。そういった場合は、近隣高校との合同チームとして大会に出場するなどの対策を取っている。

中学の部活動について

碧南市では、他市に比べると少子化の影響は少ないが、確実に子どもの数は減少している。仮に一つの中学校で部活動が出来なくなった場合、A中学校に通っ

ていたとしても、B 中学校に拠点を置く該当の部活動に参加できるようにしていきたい。実際令和5年度から、中学校の夏の大会に、中学部活動だけでなく地域のスポーツクラブが出場できるようになった。このように、子どもたちに生まれた場所での理不尽・不公平が起きないようにしていく必要がある。

Q 夢の教室とは何ですか。

A 夢の教室とは、現役アスリートやそのコーチなどを主に小学校に招いて、授業形式で子どもたちに自身の経験や考え方などを伝えるもの。碧南市では、トヨタ自動車ビーチバレーボール部と協定を締結しているため、そこから派遣してもらっている。

Q 「観る」元気ッス！に愛知駅伝を追加してもよいのではないか。

A 承知した。

Q スポーツ振興基金とはどのようなものか。

A しっかりと定めた目標があるわけではないが、将来のスポーツ施設建設のために積み立てている。今年度は1億円を積み立て費用としている。実際にスポーツ施設を建設する場合は、多角的な意見を聞くため、様々な分野の方から意見を伺う。

質疑応答後、異議なしのため承認。

(2) その他